



空き家 対策について

中嶋 通治

問 国で空き家対策特別措置法が施行され、これに向け対応は、
答 市民生活部長 空き家等の所有者の戸内データを使用し情報の収集を行っている。

問 平成23年から倒壊寸前で放置され、そのままになっていると、第2、第3の空き家が出てくる、栄町地区の空き家をどうするのか。
答 市民生活部長 倒壊の恐れがあり、特定空き家に該当すると思われる。今回の法律を受け適正に処置する。

問 市長にも現場を見てもらいたい。
答 市長 現場周辺の人に聞いてみる、大きな問題で検討する。

◆ふれあいサロンの拡充は
問 サロンの意義をどの様に捉



介護予防教室のようす(高久1区)

えているのか。また、今後サロンの開催をどの様に推進していくのか。

問 健康福祉部長 高齢者の孤立防止、高齢者が主体的に運営に参画することで生きがいになる。
答 健康福祉部長 介護予防教室で拡充している。

市長の政治姿勢 行財政改革

山崎 勝他

問 新庁舎建設の再考と、第4中学校新設の優先順位は。吉川美南駅東口周辺地区開発ビジョンは。

答 市長 市長キャラバンで市民から意見を集約し総合的に判断し検討して参る。第4中学校新設を最優先する考えはない。キャラバンを通じ市民からアイデアを聴き、市の顔として誇れる将来像を描いてまいりたい。

問 定員管理や社会人枠の新設、職員養成の施策は。

答 政策室長 第4次よしかわ行財政改革大綱に基づき、組織体制を整備し計画的に進めていく。民間企業の経験や新たな発想を持った即戦力となる人材を採用していきたい。

◆農業振興策

問 経営所得安定対策と交付金制度の加入状況は。米の消費拡大を。

答 市民生活部長 平成26年度の

実績、直接支払交付金は42件、水田活用(加工用米・飼料用米)は15件です。体験田植えや稲刈り等イベントを開催し、消費拡大に努めている。

市内民間事業者との 災害時応援協定の推進を

互 金次郎

問 災害時に住民が必要とする物資を、円滑に届けられる体制の整備は、大変重要なことです。

答 市長 市内事業者との災害協定は、食料及び生活物資の供給で1団体(JAさいかつ)、医薬品等で1団体(薬剤師会)です。今年度は、物資供給と物流に係る市内事業者に対し、市との災害時の応援協定を呼び掛け、災害時の協力パートナーを増やし迅速な災害対策につなげます。

◆健康マイレージ事業と市内の障がい者授産施設等の連携を
問 健康・体力づくりポイント制度事業(健康マイレージ事業)の交換賞品にラッピーカードと共に市の「障害者就業施設等からの調達に関する方針」に基づき、障がい者授産施設の製品をポイント交換景品の対象に加えては。

答 健康福祉部長 研究します。

吉川版「ネウボラ」 産後ケア事業の実施を

五十嵐 恵千子

問 「ネウボラ」とは、フィンランド語で、子育てのアドバイザーを行う場所という意味で、妊娠から出産・子どもが生まれた後も基本的には6歳まで切れ目なくサポートを提供する総合的なサービスの事です。政府も今後、全国展開を目指すこの事業と産後ケア事業の実施を。

答 市長 国では今年度からの事業です。他市の利用状況を研究というより、当市の総合戦略には必要と考え前向きに進めたい。

◆保育環境の質的向上を

問 今保育現場は、子ども達がより健全・安心・安全な環境とすることが求められています。量の拡充と共に、市単独補助事業のさらなる拡充で質的向上を。
答 市長 現場からの要望を踏まえ、質的向上である運営の改善が図られるよう、検討します。

◆誰もが安心の地域医療体制と保健事業の実施を

問 医師会との契約が切れれば当市は大混乱になると危惧しています。医師会との関係修復を。
答 市長 ご理解に努めます。

マンション管理組合の 機械式立体駐車場対策について

小野 潔

問 築20年以上経過したマンションの機械式立体駐車場の保守点検、維持管理費が数年で700万円以上かかる。立体を止め地上平面駐車だけで駐車台数を半減にする案があり、市に問い合わせたところ「まちづくり条例」で台数を定めているため出来ないとの回答。まちづくり条例の改正を視野に改善策を。
答 都市建設部長 検討すべき課題と認識している。近隣他市をみながら基準の見直しを考えていきたい。

◆吉川駅周辺の浸水被害対策 木売落としての整備と南中周辺

問 市長の言う木売落としての観光化と貯留設備との整合性は。南中周辺の水害対策の進捗状況。
答 都市建設部長 観光化も取り入れるが二層構造の浸水対策が優先。大場川等の河川改修を県へ要望していく。

◆庁舎建設・美南駅東口整備

問 キャラバン内容をわかりやすく丁寧な、回答も必ず返す事。
答 市長 丁寧に対応していく。

市民の方と共に 広報活動を

稲葉 剛治

問 広報よしかわや、市HP等に、掲載する記事の作成にご協力頂く、「よしかわ特派員」を募集してはと考えるがいかがか。
答 市長 市民の方と共に広報活動を行うという事は、市民の方達が吉川に住んでいる充実感を感じing上でも、また今後の総合戦略においても、市民の力が重要だと感じている。こういった形で共に行う広報活動というのは非常に意味があると思う。紙面上スペースの関係で難しいが、市HP等に載せる事については可能性はある。その辺を含めて検討していく。

◆学童保育室の給食導入を

問 学校が長期休み期間に学童保育の昼食に給食を導入しては。
答 健康福祉部長 現在週3回お弁当を用意している。今後同じように行う。
問 週5日にする事は出来ないか。

答 健康福祉部長 平成19年に行ったアンケート結果をふまえ、その予定はない。

答えて市長！一般質問

次ページへ続く